

出席者：芝生・金田・田原・佐藤・篠塚・中山

1 組織化

- ・新宮ライフセービングクラブが将来的に、永続していくためには「組織化」が必要。
- ・クラブ員が地域と連携した新宮 LSC としての活動を行うための意思決定を行う場所としての組織が課題。
- ・方向性などの大切な意思決定をする「総会」、事務的な意思決定をする「理事会」をつくる。
- ・総会を4月中に開催。クラブ規約や方向性を決定するとともに、総会で理事会メンバーの承認を得る。
- ・理事会で様々なことを決定して運営していく。
- ・全員が参画できるようなクラブ体制づくりが必要。

2 方向性

- ・地域と連携した活動を継続的に行うためには、クラブとしての資金は必要。しかし、利益を追求しない。
- ・必要以上の収入を行うとクラブイメージ、ひいては九州における LS 文化構築へのイメージダウンとなる。
- ・インフラ整備や交通費支給、将来的には事務員給与などのためクラブ収入もあり得る。
- ・ライフセービングを食い物にするような収益や事業化はやらない。
- ・「誰のために、何のために、クラブが存在するのか？」存在意義の議論が必要。
- ・地域と連携を行う活動を今後行っていくために、クラブ員の目標を明確にしていくことが必要。
- ・その存在意義をクラブ規約の「目的」の部分に明記が必要。クラブ規約の改訂。
- ・新宮の地域を巻き込んで、一緒に成長していけるようなクラブでありたい。

3 その他

- ・家族などを連れて少しの時間でも参加できるようなインフラ(電気、シャワーなど)を整備したい。